

<b>ガブリアス</b>	ドラゴン	じめん	HP	攻撃	防御	特攻	特防	早さ	
すながくれ	なし	さめはだ	108	130	95	80	85	102	
<b>メガ進化</b>	ドラゴン	じめん	すなのちから	108	170	115	120	95	92
主な持ち物	こだわりスカーフ、こだわりハチマキ、きあいのタスキ、いのちのたま、ゴツゴツメット、ラムのみ								
主な技	げきりん、じしん、ダブルチョップ、みがわり、つるぎのまい、だいもんじ、ストーンエッジ、どくづき ねごと、ドラゴンクロー、かえんほうしゃ、アイアンテール、アイアンヘッド、ドラゴンダイブ、からげんき								

**特徴** ガブリアスより素早いラティオス、ボルトロスが未解禁の上、「めざめるパワー(氷)」が弱体化しているという、プラス要素が目立つポケモン。自身の弱体化要素は、しばらくは「ステルスロック」がないことと、砂嵐ターン減少、フェアリータイプの追加、でどちらもそれなりに大きいのだが、{さめはだ}が物理ポケモンの強いXY初期環境で強力な特性なので、{すながくれ}より{さめはだ}が欲しいことも多く、悪くはない。メガ進化前は素早さ種族値100族を抜ける素早さから、『こだわりスカーフ』を持って相手の積みストッパー、『こだわりハチマキ』を持って低速を蹂躪、『きあいのタスキ』を持ってストッパーの役割も持たせつつ「つるぎのまい」で破壊力を持たせる、がガブリアスの主な3方針で、どれも非常に対処しづらい。他には、『ゴツゴツメット』『さめはだ』という方針もとれて、物理ポケモンが強い現状だと無駄になりづらく強力である。特に、ファイアローが「ブレイブバード」二発でガブリアスを倒したとすると、HP185(努力値252)のファイアローは167ダメージを受け、HP154(努力値4)のファイアローは、149ダメージを受けることになる。一回の物理攻撃で相手の体力を約7/24奪い取れるので、ガルーラとファイアローには強気に出られる。「みがわり」{すながくれ}で粘る型については、天候ターン減少の影響が大きいので、今回は紹介しない。メガ進化型も素早さが落ちる上に貴重なメガストーンを使う以上採用しやすい構築は限られて、結局のところ「バトンタッチ」から繋ぐと活躍しやすいという面白みのない結論になるので、今回は省略する。構築については、スペックが高いためどんな構築に入れても活躍しやすいポケモンなので、採用すること自体は難しくない。しかし、型や持ち物については、どれがベストかは構築により様々なので、適宜自分で選んでいきたい。「つるぎのまい」「ほのおのキバ」二発で相性が一見悪いエアームドさえ突破できるので、構成次第でどんなポケモンでも突破出来るとさえ言えることが、ガブリアスの魅力である。極端な型だと、『きあいのタスキ』を持たせてCS振りをして「りゅうせいぐん」を持たせると、相手のガブリアスを意識した型も存在するが、そこまでする必要は余程ガブリアスをガブリアスで倒したい限り生じないだろう。

**対策** ドラゴン技、地面技少なくとも片方に耐性を持つポケモンを多くして、ガブリアスを自由に行動させ辛くさせることが大事。鋼ポケモンでも『こだわりハチマキ』『げきりん』と{さめはだ}で押し負けることがあることも注意しておきたい。終盤に『こだわりスカーフ』ガブリアスに全抜きされる光景はよく見るので、最後の一体がガブリアスである場合も想定して動いていきたい。極端に相性のいいポケモンはトゲキッスがいるが、その他のフェアリータイプだと「じしん」で押し負けることも多いので、過度に信頼は出来ない。基本的に無傷で倒すのは無理だと諦めて、多少の被害を受けても倒すと割り切るのがいいだろう。「キングシールド」ギルガルドや「つるぎのまい」クチートは「げきりん」を起点に出来るので、「げきりん」に苦戦したならば採用してもいいだろう。

<b>AS型</b>	さめはだ	HP	攻撃	防御	特攻↓	特防	早さ↑	性格
“主な持ち物”から何でもよい		183	182	116	xx	105	169	ようき
げきりん	じしん	選択技			選択技			

基本的な型。『こだわりスカーフ』の場合は、ウルガモス、メガリザードン X 対策や相手の『こだわりスカーフ』ガブリアスの対策が出来ているなら、[いじっぱり]もあり。メガギャラドスもメガパンギラスもカイリウム一回「りゅうのまい」を使っただけだと[いじっぱり]『こだわりスカーフ』で抜かせるので、ウルガモスとメガリザードン X 対策さえできていれば[いじっぱり]でも余り困らないだろう。ただそのメガリザードン X がかなりの強敵なため、[ようき]にして万全を期したいと思うことも勿論多いだろう。選択技は、「ドラゴンダイブ」「ドラゴンクロー」「ダブルチョップ」「ストーンエッジ」「いわなだれ」「ねごと」「みがわり」「つるぎのまい」「だいもんじ」「どくづき」など多岐にわたる。『こだわりハチマキ』なら「げきりん」「じしん」「ストーンエッジ」「ねごと」や、水ロトム「おにび」対策の「からげんき」もあり。『きあいのタスキ』『いのちのたま』持ちなら受けづらく「つるぎのまい」や、ソーナンス対策の「どくどく」が採用しやすい。また、『いのちのたま』の場合は、「ふいうち」対策での「みがわり」が採用しやすいだろう。『ゴツゴツメット』の場合は「みがわり」が「おにび」対策の意味が強くなるので、ロトムやパンプジン対策が出来たらあまり必要とならないだろう。その他はどの技を入れてもあまり問題ないので、自由に選ぶとよい。「げきりん」が起点にされるのを恐れる場合は代わりに「ドラゴンダイブ」や「ドラゴンクロー」でもよいが、命中や威力が犠牲になることは忘れてはいけない。